

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22027	事業名	公共施設LED化推進事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	08:脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築			款	02:総務費	
		施策の方向	01:高度な低炭素社会の構築			項	01:総務管理費	
重点プロジェクト	-		目	03:財政管理費				
事業期間	R 4 年度 ~ R 16 年度	主な根拠法令等	地球温暖化対策推進法					

部	総務財政部
課	財務課 契約管財G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	2030年までに国内の全ての照明のLED化を目指す国の動きを受け、各メーカーは蛍光灯器具の生産を中止するなど、脱炭素社会に向けた取組が加速している。また、市では、令和3年度に亀山市地球温暖化防災対策実行計画を策定し、CO2排出量の削減に取り組んでいる。	市公共施設	公共施設の照明をLEDに更新し、省エネルギーを図ることにより、施設の維持管理に伴うCO2排出量やコスト削減を図る。	LED照明への交換による費用対効果が高い公共施設について、3か年において順次LED化を図る。導入手法については、経費負担の平準化等から更新後のメンテナンスも含めたリース契約を採用する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○業者選定 ○施設詳細調査、対象施設等決定 ○LED照明への更新作業(初年度分)	○LED照明への更新作業(2年次分) ○リース料支払(初年度分)	○LED照明への更新作業(3年次分) ○リース料支払(初年度・2年次分)	○リース料支払(初年度～3年次分) ○未導入施設への導入方針決定				
	活動実績 (計画通り実施できたか)	事業効果が大きい67の公共施設について、プロポーザル方式により業者選定の上、10年間のリース契約を締結した。初年度は、本庁舎、関支所、道路照明灯の3施設の照明について詳細調査の上、仕様を決定し、更新工事を実施した。	更新を予定していた小中学校や子育て支援施設、消防庁舎など37施設について、計画どおりLED化を図った。また、令和4年度に更新した本庁舎を含む3施設については、初年度分のリース料を支払った。	総合環境センターや市立医療センターなど、28施設の照明をLED照明に更新するとともに、昨年度までにLED照明へ更新した施設のリース料を支払った。					
計画額	事業費	事業費	0千円	23,000千円	19,593千円	50,000千円	47,626千円	65,000千円	
		国・県支出金	0千円		0千円				
		地方債	0千円		0千円				
		その他	0千円		0千円		1,647千円		
		一般財源	0千円	23,000千円	19,593千円	50,000千円	45,979千円	65,000千円	
決算額	事業費	事業費	0千円		15,448千円		47,616千円		
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円		
		地方債	0千円		0千円		0千円		
		その他	0千円		0千円		0千円		
		一般財源	0千円		15,448千円		47,616千円		
①期間内計画額(R4-7)		138,000千円	②期間外計画額(R8-)		512,000千円	①+②総計画額		650,000千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	47,626千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	LED照明を導入した施設数(累計)	当該事業により照明のLED化を図った施設数	活動	施設	計画値	3	40	67
					実績値	3	40	68
削減されたCO2排出量(累計)	照明のLED化により削減された電力量(推計値)×CO2排出係数	成果	t-CO2	計画値		300	1,200	2,500
				実績値		389	1,434	
				計画値				
				実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	LED照明への更新により、施設の電気料金や維持管理経費が大幅に削減されたことに加え、使用電力量の削減に伴いCO2排出量の削減につながった。
A	
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市公共施設	公共施設の照明をLEDに更新し、省エネルギー化を図ることにより、施設の維持管理に伴うCO2排出量やコスト削減を図る。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
本事業の対象施設から除外した比較的小規模な公共施設についても、照明のLED化について検討する必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 未更新施設の照明のLED化について、当該事業の効果や蛍光灯器具の生産終了時期なども踏まえ、更新手法や時期について検討する。	令和8年度以降で対応するもの 未更新施設の照明のLED化を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【履歴】				
成果判定	A	A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	総務財政部 財務課 契約管財GL 堤 大介
最終評価者	総務財政部 参事(兼)財務課長 佐藤 康二